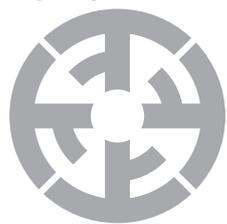




かみさと



議会 だより

- ◇12月定例会の審議状況……………P 2
- ◇12月定例会一般質問に9人…P 5
- ◇第4回意見交換会
 ならびに議会報告会……………P14
- ◇委員会、研修会レポート……………P15
- ◇3月定例会会期日程等……………P16



▲上里東公民館 琴響会

詳細はP4へ

110

調和の音色とともに、
まちの声を紡ぐ議会へ

第7回 12月 定例会

12月4日～
12月12日

第7回12月定例会は12月4日に開会され、議員9名の一般質問と町長提出議案21件他を審議して12月12日に閉会しました。

◆ 条 例 ◆

上里町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

上里町長及び副町長の給与等に関する条例及び上里町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

上里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、職員の給料、期末勤勉手当及び通勤手当の改定を行うとともに、上里町長、副町長、教育委員会教育長及び議会の議員の期末手当の改定を行うものです。

上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

要旨 令和7年10月1日施行の児童福祉法の改正及び児童福祉施設の設備及び

運営に関する基準等の改正に伴い、地域限定保育士の規定を明確化するとともに自治体で実施する乳幼児の健康診査を、保育所等で行う健康診断の一部または全部に代替できる規定を定めるための改正を行うものです。

上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

要旨 埼玉県国民健康保険運営方針に基づく県内の保険税率統一に向け、段階的に県の示す標準税率に合わせるため、税率の改正を行うものです。

上里町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例

要旨 農業委員会等に関する法律第18条第2項及び農業委員会等に関する法律施行令第8条に規定する基準により、農地利用最適化推進委員の定数を13人から

12人に改めるものです。

上里町水道事業給水条例の一部を改正する条例

要旨 災害その他非常の場合において、他の市町村長の指定を受けた者が給水装置に関する工事を行えるようにするための改正を行うものです。

上里町下水道条例の一部を改正する条例

要旨 災害その他非常の場合において、他の市町村長の指定を受けた者が排水設備に関する工事を行えるようにするため及び下水道法施行令の一部改正に伴い、放流水に含まれる大腸菌群数に関する文言を整理するための改正を行うものです。

上里町福祉市民センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

要旨 上里町公共施設再配置・維持保全計画に基づき、福祉市民センター及び

保健センター並びに老人センターの複合施設が完成するため、福祉市民センターの移転に伴い、運用面の見直しのため改正を行うものです。

上里町保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例

要旨 複合施設が完成するため、保健センターの移転に伴い、その位置等の改正を行うものです。

いきいきラウンジ設置及び管理条例

要旨 こむぎつつちテラス2階に設置される高齢者の健康と福祉を支援する、いきいきラウンジの設置・運営に必要な事項を定める条例を新たに制定し、併せて、かみさと荘の設置条例を廃止するものです。

上里町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

要旨 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和8年4月から、乳児等通園支援事業における給付制度が開始されることとなり、町内



いきいきラウンジ設置及び管理条例等を可決

における乳児等通園支援事業の設備及び運営の最低基準を明確化し、事業の適正な実施と利用乳幼児の健全な育成を図るため制定するものです。

◆ 道路線廃止 ◆

上里町道路線の廃止

要旨 町道認定の是正並びに一体利用として払下げ予定があるため、町道路線を廃止するものです。

◆ その他 ◆

財産の取得

要旨 上里町烏川・神流川総合運動公園（上里ゴルフ場）整備事業に係るゴルフ場用地を取得するものです。

◆ 令和7年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算（第5号）

概要 歳入歳出それぞれ1億813万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ135億3828万1千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・子どものための教育・保育給付事業

1365万6千円
 ・小学校管理運営事業

790万4千円
 ・地域子ども・子育て支援事業

649万5千円
 一般会計の他、国民健康

保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、農業集落排水事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

◆ 意見書 ◆

要旨 2件の意見書を国等へ提出することについて審議したものです。

美里町の埼玉県議会議員選挙区を北第3区から北第2区に戻すことに関する意見書（案）

OTC類似薬の医療保険適用継続を求める意見書（案）

第7回12月定例会 議案に対する各議員の賛否

議案	議員名	石井慎也	伊藤 寛	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黛 浩之	結果	
上里町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	議 長	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
上里町長及び副町長の給与等に関する条例及び上里町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	×	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	○	可決
上里町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町水道事業給水条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町下水道条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町福祉町民センター設置及び管理条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町保健センター設置及び管理条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
いきいきラウンジ設置及び管理条例		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
上里町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
上里町道路線の廃止		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和7年度	上里町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	上里町農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
美里町の埼玉県議会議員選挙区を北第3区から北第2区に戻すことに関する意見書（案）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
OTC類似薬の医療保険適用継続を求める意見書（案）		○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対)



物価高騰対策 支援事業補正予算を可決

12月26日

第8回12月臨時会

第8回12月臨時会は12月26日の1日間の会期で行われ、町長提出議案2件を審議しました。

◆ 令和7年度補正予算 ◆

上里町一般会計補正予算 (第6号)

概要 主に物価高騰対策の支援事業を速やかに実施するために計上するものです。歳入歳出それぞれ3億6299万5千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ139億127万6千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・物価高騰対策商品券発行事業 1億3395万円
- ・物価高騰対策水道基本料金等減免に要する経費 1億67万3千円
- ・物価高対応子育て応援手当支給事業 8629万2千円

上里町水道事業会計補正予算 (第4号)

概要 物価高騰対策の町独自支援事業として、水道料金の一部減免事業を実施するにあたり、事前にシス

第8回12月臨時会 議案に対する各議員の賛否

議案	令和7年度		上里町一般会計補正予算 (第6号)														
	上里町水道事業会計補正予算 (第4号)		石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	黛 浩之	結 果
	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。(○賛成 ×反対)

テム改修が必要なことから、債務負担行為を追加する補正を行うものです。

受賞おめでとうございます。

児玉郡町議会議長会より、高橋正行議員が在職20年にわたり地方自治の進展に寄与された功績により表彰されました。



高橋正行議員

今号の表紙

琴響会 (椎の木グループ・花みずきグループ)

椎の木グループは、第1金曜日・第3月曜日13時半から、花みずきグループは、毎週金曜日19時から上里東公民館で、仲良く楽しくをモットーに大正琴の練習をしています。新しい曲に挑戦するワクワク感と段々と曲になってきてひとつの楽曲になった時の充実感をメンバー同士で共有できるのが大きな喜びです。



猪岡 壽

問 資金不足をする特別会計に国の補助を要望

答 引き続き、国や県に要望していく

1 特別会計3会計
について

問 一般会計から3特別会計に令和6年度は7億5254万円、令和5年度は7億5206万円、令和4年度は7億5323万円繰り入れているが、一般会計が順調だから繰り入れができるが、人口が減少し一般会計の歳入が減収になった時は、一般会計からの繰り入れは難しくなる。そこで、この特別会計の資金不足は、上里町だけの問題ではなく、全国の市町村の問題なので、各市町村で協力して地方財政の危機として国に要望すべきと思うが町長の見解は。

答 国民健康保険特別会計については、これまでと同様、他自治体とも足並みをそろえ国に要望していく。後期高齢者医療制度についても、広域連合を通じ、町の実情について訴えていく。介護保険特別会計については、町の負担割合を国に見直すことを要望していく。町としても医療給付費や介

護給付費の抑制については引き続き取り組んでいく。

2 下水道事業について

問 毎年一般会計からの繰入金で資金繰りが成り立っている下水道会計について、国の補助金の可能性はどうか。毎年厳しい下水道会計の事業においては、国の補助制度が是非とも必要であるが、町長の見解はどうか。

答 下水道事業については、国から令和8年度までに事業計画区域内の整備完成が求められているが、上里町は他の自治体よりも公共下水道への着手が後発であり、令和8年度までの完成は不可能な状況だが、引き続き計画的に整備を進め、事業計画内の整備完了に努める。ご質問の国へ補助の要望を行うことについては、整備が遅れている町村の下水道整備について必要な予算処置を講じることの要望はしているが、令和9年度以降の補助金の動向を注視し、

他の自治体の状況を踏まえ検討していく。

3 経常収支比率が上昇した
主な要因について

問 国の制度で会計年度職員の勤勉手当が新設され、人件費等の増加に繋がったことについて、町の令和6年度の経常収支比率（※1）は96.6%となり年々高い数字となっている。80%を超えると弾力性が失われるといわれ、財政運営にも注意が必要と言われているが、上里町も含め多くの市町村がこのような状態である。上里町も国の制度で新設された会計年度職員の勤勉手当が要因で人件費が増えたため、経常収支比率の増加に繋がっているが、この増加した分について、国からの補助金は入金されているのか。

答 人件費の増額に対する国庫補助金などの制度はないが、地方交付税の算定費用として会計年度任用職員の人件費が含まれている。会計年度任用職員の勤勉手

当は、人件費の増加要因の1つだが、この制度が発足する前後で各種事業の増加や物価上昇など様々な要因が重なり、経常収支比率にも一定の影響を与えたものと考えている。

※1 経常収支比率とは：経常収支比率は、人件費など経常的に支出する「経常経費充当一般財源」が、税収や普通交付税など経常的な収入である「経常一般財源等」に占める割合をいい、「財政構造の弾力性」の度合いを判断する指標の1つとして用いられている。この数値が100%に近づくと、経常的な支出が経常的な収入のほとんどを占めていることを意味しており、突発的な災害等に適切に対応する財政的余裕がない状態にあるといえる。





金子 義則

問 子ども・子育て支援について

答 ラーケーション導入や検定料補助も検討したい

1 上里町内の小・中学校生徒に対するラーケーションの導入について

問 ラーケーションとは、ラーニング(学習)とバケーション(休暇)を組み合わせた造語で、子どもが保護者と一緒に校外でいろいろな体験や探求の学びを行う活動である。これを学校が認めれば、この日は学校を休んでも欠席扱いにならない。この制度を導入することで、子供たちの自主性や主体的な学びの深化が期待でき、学校では得られない多くの体験ができる。学校の教育課程を飛び越え探求し、より一層学びが深まると思う。この制度を導入してはどうか。

答 教育長 ラーケーションは、様々なメリットがあると考えられている。土日祝日に休みを取ることができない家庭が子どもと有意義な時間を過ごせること、普段学校ではできない体験ができることなどが挙げられる。また、ラーケーションを有

効活用することで、リーダー教育やキャリア教育等の可能性を秘めている制度であると認識している。埼玉県議会においても現在議論されており、導入する際は、県議会で整理された内容など、検討しなければならぬ課題がある。

2 英語検定助成支給要件と漢字検定試験助成の新設について

問 現在上里町で英語検定の助成事業は行われているが、町内在住の私立の小・中学生は支給対象となっていない。公平性の観点からも支給すべきである。また、英語検定だけではなく、漢字検定の助成事業もするべきだと考えるが。

答 教育長 英語検定助成は、令和6年度からは小学生も対象とし、令和7年度からは小学生は対象級も3級から5級以上に改定した。助成費用については、町の様々な補助事業と整合性が取れば前向きに検討する。漢字検定についても前向き

に検討は進めていきたいと考えている。

3 町民からの意見について

問 交差点右折信号について 昨年度から再三お伺いしている本郷交差点と上里東小学校北側交差点の右折信号機の状況について伺いたい。特に、本郷交差点では朝夕の通勤時間帯は、渋滞で全く動かない状態が続いている。今現在の対応状況と今後の見通しは。

答 その後の進捗状況だが、県警本部からの明確な回答はいまだない状況である。しかし、該当交差点への対応は、町としても本庄警察署に対してあらゆる機会を捉えて働きかけるなど、最大限の努力をしているところである。

問 神保原駅の橋上化や自由通路について、令和2年3月23日に上里町議会において、神保原駅周辺の開発と駅舎の建替えに関する要望決議が出されているが、

その後計画の進捗状況は。

答 神保原駅の橋上化については、多くの町民の方々から整備を望む声が寄せられている。しかし橋上化は、物価上昇等で財政面において大規模な事業となるため、慎重な対応が求められる。現在の方針としては、複数の工法を検討した結果、既存の自由通路に屋根を整備することも可能であると考えている。

問 役場北側道路をワープ上里、上里サービスエリアを通りリバーサイド道路に出れば、当時の課題が解決できるのでは。

答 ご指摘の道路は、上里町都市計画マスタープランで位置づけられている構想道路である。しかし、事業実施には町の財政状況を踏まえた慎重な判断が必要である。事業による効果を十分に検証し、町全体の優先順位を見極めながら進めていきたい。



高橋 勝利

問 保育料完全無償化に踏み切った根拠は

答 子育て世帯の経済的負担の軽減等が挙げられる

質問 1 空き家対策について

問 国土交通省の対策と上里町の関係について。

答 今年度より、まちづくり推進課が中心となって検討会を立ち上げ、上里町空き家等対策計画策定に向けた総合的な課題や対策について議論を進めている。国交省の対策については、空き家の急増が見込まれる中高齢者世帯のみが居住する空き家予備軍と呼ばれる住宅を対象に、子育て世帯向けの住宅などへの改修を促進する制度を創設する動きと認識している。

質問 2 デジタル教科書 30年度開始について

問 デジタル教科書の利用拡大を検討する中央教育審議会について。教科書の形態について。

答 教育長 学校でのデジタル教科書の使用拡大を検討してきた中央教育審議会のデジタル教科書推進ワーキンググループは、紙の教科

質問 3 駅の必要性及び利便性について

問 駅橋上化について見解は。そして、駅の必要性や利便性について町長の見解は。

書、デジタルのみの教科書、紙とデジタルを組み合わせたハイブリッド教科書の3種類を正式な教科書とし、検定や使用義務などを対象とする方針を示した。文部科学省は、2030年度に新しい教科書を小学校で使用するために、2026年度中に必要な制度改正を行う予定と公表している。町は3種類の形態のうち、紙とデジタルを組み合わせたハイブリッド教科書の使用を検討している。導入する学年については、全学年とするが、低学年児童は、基本的な文字の読み書きが定着していないことや、タブレットの使用方法が分からないなどの状況が予測でき、必要に応じてデジタル教材を使用していく運用方法を検討している。

質問 4 保育料の完全無償化 について

問 保育料完全無償化に踏み切った根拠は。経常収支比率（P5※1参照）について。

答 町では、本施策に5つの効果を期待して実施している。第1に、若い子育て世帯の経済的負担の軽減。第2に、無償化を契機とした就労意欲の向上。第3に、結果として就労機会が拡大し、所得向上につながる。第4に、上里町への移住・定住を促進し、町の活性化に寄与する。第5に、公約である「子育て支援日本一」実現に向けた推進である。経常収支比率は、80%を超える場合には弾力が失われつつあると言われている。令和5年度から1.2%増加の96.6%となり、財政の硬直化が進んでいる。これは保育料の無償化に伴い、歳入である保護者負担金の皆減と併せて、歳出について、保護者が施設に払っていた負担金を、無償化により町が払っている事も要因である。



沓澤 幸子

問 クビアカツヤカミキリ駆除に向け周知を

答 出前講座、防除方法の講演会も検討

1 一人ひとりを大切に
教育と猛暑対策について

問 町の不登校及び休みがちな児童生徒の現状と「誰一人取り残さない教育」の取組は。

答 教育長 令和6年度不登校は、小・中で41人。会計年度任用職員等を入れて個別指導（フォロー）や、教室に戻れない子は、支援室（チャレンジ教室）で勉強できる。

問 教育環境として、①小学校体育館の空調設備。②「洋式がスタンダード」と言われる学校トイレの改修を早急に。③授業時間が増加している中、遊び時間を確保するために、一部清掃の業者委託も視野に、清掃時間と回数を減らす工夫を。答 教育長 ①財政状況や優先度を勘案して検討する。②令和7年9月時点の洋式率は、59.8%。現在計画はない。③清掃を実施しない日を設けている学校もある。検討するよう話したい。清掃活動の意義を踏ま

え、専門業者による清掃作業も行う。

問 来夏に向け、一番熱い時間帯に下校する小学生の猛暑対策として、各学校に冷感グッズを冷やす冷凍庫の設置を。

答 教育長 保冷材の冷却用冷凍庫の設置は、一律にグッズを支給した場合、保護者が求める機能を有するとは限らないことや汗の付着など衛生上難しい。対策用品の活用や効果的な対策情報を周知していく。

問 クールオアシスの指定にもなっている神保原児童館の空調設備が2年続けて故障。定期点検等で機能低下や不具合のチェック対応を。

答 空調は、予兆なく故障することも多いが、指摘の様に使用しない時期の点検が重要。施設の使用頻度、役割も考慮し平準化しながら更新したい。



2 まちづくりについて

問 駅北まちづくり事業について、議会の「令和8年度予算等に関する提言書」の受け止めは。

答 イベントを1日限りとせず、継続的な賑わいを取り戻す活動が必要。議会の提言を踏まえ、費用対効果を考慮したソフト事業、インフラ事業を進める。

問 「三田中通り線について、可能な範囲で早急に整備」と広報の町長コラムにあったが、整備時期と雨水排水形態は。

答 雨水対策と一体的な整備を進めるため、令和4・5年度に道路詳細設計、6・7年度用地測量、7年度から用地買収を実施。雨水整備は、多額の費用を要するため、コスト削減の可能性、国の降雨量の見直しに伴う雨水流出抑制施設規模の再検討を実施。雨水整備は、調整池を設置することを決定したが、放流ルートや調整池の規模は、引き

続き検討中。今後は、県との協議を整え、基本設計、事業計画の変更、都市計画決定を行い、12年度までには、実施設計を完了したい。

3 クビアカツヤカミキリ対策について

問 町民体育館の桜がクビアカ被害等で伐採された後、注視すると広範囲に被害が見える。公共施設の樹木の一斉点検と住民及び事業所への周知、駆除徹底のために薬剤投入などの支援や講習会の実施を。

答 被害拡大を防ぐためには、早期対策が重要。公共施設の被害状況調査を実施し、17カ所185本の桜の被害を確認した。（うち枯死15本）早急に町内事業所の状況確認と対策を周知する。県の出前講座、専門家の防除方法等の講習会も検討したい。



クビアカツヤカミキリの被害樹木



高橋 仁

問 サプライチェーン(供給網)等の推進について

答 地元農作物を生かした加工施設ができれば

質問 1 農業振興について

問 地域計画での10年後は大丈夫なのか。

答 魅力ある農業経営の環境を整え、後継者等の確保に努めるとともに、地域計画に掲げた将来像の達成に向け農業振興を進めていく。

問 種子用稲「彩のきずな」・種子小麦「さとのそら」への支援策について。

答 水稲及び小麦種子の産地である役割を果たすため、また町の基幹産業である農業を守るため、積極的な支援策について検討を進めていく。

問 多面的機能支払制度で畦畔管理支援事業ができないか。

答 厳しい状況の中、地域の取組が継続され、営農環境の維持、自然環境の保全、良好な景観形成など、多面的機能が維持されるよう、随時新たな取組を実施していく。

問 地先管理について、土側溝について。

答 排水路管理作業で実施している新たな取組・負担軽減策に加え、畦畔等の地先管理の負担軽減策について、先進事例も参考に可能性を探っていく。

問 優良農地の定義について、なぜ地代に差があるのか。

答 農業者から見た場合、地力が優れ、生産性が高い農地が優良農地と言えると考えられている。地代については、一般的には、砂利採取が行われると水はけが悪くなる、地力が低下するなどの影響が考えられ、栽培できる作物も限られることから、地代に差が生じている。

問 サプライチェーン(供給網)等の推進について。

答 地元農作物を生かした加工施設ができれば、地域農業の持続可能な発展を目指すことができるかと考える。

質問 2 公園・緑地の整備について

問 町民ニーズに対応した公園の整備について。

答 上里町公園施設長寿命化計画を策定し、現在、国の補助金を活用しながら、老朽化した遊具の更新工事に取り組んでいる。

問 あおぞらパークに幼児の自転車道コースができるか。

答 実現可能性について、調査・検討を進めたい。

問 あおぞらパークに、西崎キクさんのベンチを置いてはどうか。

答 引き続き慎重に検討する必要がある。

問 堤調節池運動公園グラウンドに自販機を置いてはどうか。

答 民間事業者からの設置要望があれば対応したい。

質問 3 青少年健全育成について

問 部活動等の地域移行の取組について。

答 教育長 保護者・学校・地域団体の理解と協力を得ながら、段階的に地域展開を進めたい。

問 スポーツ少年団の指導者について、熱意や犠牲に

支えられてきた面もある人たちに、正当な対価を支払う必要があるのでは。

答 教育長 間接的な補助として、上里町スポーツ少年団指導者協議会に対し補助金を支出し、必要なスキルを学ぶ機会を設けている。

質問 4 都市計画道路の整備について

問 構想道路(※2)について。

答 大規模な道路整備を進める際には、構想道路に限らず整備手法を慎重に検討する必要がある、どの方法にもメリットとデメリットがある。最も効果的な手法を検討したい。

問 駅南・三田久保原線と上里スマートインターチェンジ周辺までの整備は。

答 三田久保原線延伸は、必要性が高いと考えている。事業貢献度など総合的に判断し、事業を選択する必要がある。そのため、直ちに着手することは困難な状況である。

※2 構想道路とは：上里町都市計画マスタープランに位置づけされている道路。



植原 育雄

問 空き家対策について

答 空き家所有者の解体等の負担感軽減措置が有効



ウニクス出入口交差点の現状

1 ウニクス出入口の
交差点改良について
質問

問 ウニクス出入口交差点の現状について。

答 定周期式信号機設置は、課題をクリアしないと信号機の設置は困難な状況である。具体的には、出入口を公道が交わる交差点として整備する必要があり、ウニクス上里駐車場への公道の建設、並びに南側では道路幅員の拡幅等が、定周期信号機が設置できるための物理的要件になっている。ウニクス上里の土地の問題は、町で解決することは不可能である。また、久城方面の交差点南側については、安全確保のため歩道部の用地買収について現在交渉中である。

2 右折信号機設置
について
質問

問 最近、ウニクス駐車場内に有名コーヒー店の看板が設置されたことについて。

答 駐車場に設置された有名コーヒー店と思われる看板については、現地を確認したいと思う。

問 児玉工業団地線と県道藤岡本庄線との交差点に右折信号機設置について。

答 町道児玉工業団地線と県道藤岡本庄線が交わる本郷交差点の右折信号機については、令和6年3月開通の翌月に、担当課により交通量調査を実施し、その結果を本庄警察署へ提出し協議している。

3 空き家対策について
質問

問 補助金等を利用した空き家対策について。

答 空家等対策特別措置法に基づき、上里町空き家等対策計画の策定を進めている。庁内に空き家等対策庁内検討会を設置し、既に勉

4 小中学校の
不登校対策について
質問

強会を3回、検討会を1回開催し、現在は、上里町空き家等対策計画の素案策定に向けた最終調整を行っている。空き家対策を効果的に推進するためには、空き家所有者の解体等に係る負担感を軽減するなどの措置が有効であると考える。

問 上里町内小・中学校の不登校の現状について。

答 教育長 令和6年度の不登校の人数は、全国で35万3970人であり、埼玉県では1万7038人である。上里町の不登校人数は、令和6年度は41人であり、令和5年度は45人であった。

問 不登校児童生徒の対応について。

答 教育長 全教職員が共通認識を持って対応できるよう、教育相談部会や生徒指導部会を中心に情報共有を行い、学校全体での支援に取り組んでいる。学校には登校できるものの、自分の

クラスに入室できない児童・生徒や気持ちを落ちさせていた児童・生徒のために、校内支援教室を設置し、学習支援員・児童支援員を配置し、児童・生徒のペーアに合わせた学習支援を実施している。保護者への支援についても、町内の中学校に、さわやか相談員を配置し、子育ての悩みを相談しやすい環境を整えるところにも、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーも配置し、心理的サポートや学校・家庭・地域のつながりが維持できる体制を構築している。

問 不登校児のネット出席（自宅でオンライン学習をした場合に出席扱いとすることができ）について。

答 教育長 上里町では、教育委員会から各校長に指導して、既に実施している。ただ実施しても、児童生徒が対応してくれないと成り立たないが、一応オンラインの授業は出席扱いとしている。



一般質問

新井 實

問

歴史・文化・芸術と観光の町づくりについて

答

サービスエリアの周辺に展望台を設置しては

質問 1

歴史・文化・芸術と観光の町づくりについて

問 上里町の歴史・文化・芸術と観光の町づくりについて。

答 議員御提案の内容については、地域活性化を目指す観点から興味深いものを受け止めている。やぐらや展望台を設置して、地域の魅力を視覚的に発信することや、美術館や博物館などの歴史・文化施設を活用して、観光価値を向上させるというアイデアには、新たな地域のにぎわいを生み出す可能性があると感じている。

質問 2

児玉郡市1市3町共同で政府が新しく創設を考えている「防災庁」を誘致すべく内閣府に陳情したことについて

問 政府が創設を目指す「防災庁」について、本庄市と周辺3町が共同で誘致に名乗りを上げたことについて。

質問 3

本庄市、美里町、神川町、上里町の1市3町では、本庄地域定住自立圏の形成を通じて、地域全体の発展を目指し、国及び埼玉県に対し積極的な提案や要望活動を実施した。具体的には、本圏域は首都圏に比較的近く、優れた交通網と高いアクセス利便性を有しているため、首都機能のバックアップ拠点、広域的な防災ネットワーク構築の拠点として、防災庁の立地に適している地域である。

質問 3

水道スマートメーターの導入について

問 一般家庭や事業所への水道スマートメーターの導入について。

答 スマートメーターは、水道事業の検針業務の効率化や漏水対策などで一定のメリットが期待されている。しかし、現時点では全国のスマートメーターの導入率は低い状況である。理由としては、初期導入に係るコストが高額であることが上げられる。さらに、検定満

質問 4

御陣場川に架かる柿木橋の架け替えと歩道の設置について

問 御陣場川に架かる柿木橋の架け替えと歩道の設置工事について。

答 柿木橋については、点検を実施した結果、コンクリートのひび割れやガードレールの変形等が確認された。部分的な修繕は要するものの、早急に架け替え、改修を要するものでないと診断結果だった。次に、歩道の設置であるが、柿木橋周辺では、通勤・通学の時間帯、歩行者は狭い柿木橋を通行せざるを得なく、歩道の設置については、必要性を感じている。下流側に歩道を設置することが最適と考える。

質問 5

御陣場川、川端の雑木・雑草の生活環境公害について

問 高崎線北側の御陣場川1丁目の柿木橋から4丁目の楠森橋の川端の雑木や雑草が大きくなって生活環境公害になっていることについて。

答 御陣場川は、神保原駅北まちづくり基本計画で水辺ゾーンとして位置づけられ、貴重な水資源となっている。河川管理者である埼玉県は、来年以降、実生木伐採を計画し予算要求を行っていききたいとのことである。



柿木橋



戸矢 隆光

問 駅北まちづくりについては慎重に

答 財政状況あつての事業である

1 駅北まちづくり事業
について

○駅前マーケットの今後について

問 町では、ふれあい祭りとともに、定着しつつある駅前マーケットを今後どのように展開していくのか。

答 当初は、駅北地域の道路など、インフラ整備の計画づくりが中心であったが、それだけでは町民の望まぬちづくりが実現できないと考え、この地域に興味を持つ人を増やすことを目的に、ちいさな駅前を旅するマーケットを始めた。今後の展開としては、町づくりの主体となる仕掛け役から地域活動を行う人材、プレイヤーを育成し、活動を支援する、下支え役へと転換していきたい。

○令和4年度委託費について
問 まちづくり基本構想は、令和3年度から4年度にかけて作成したものであり、この構想から、さらに詳細になったものが基本計画で

ある。令和4年3月に教育機関の進出が頓挫しようとしたときにも関わらず、なぜそのまま策定したのか。

答 駅北まちづくり基本計画策定業務に並行して、学園誘致に向けた交渉も進めていた。これらが駅北地域の将来像を描く上で、密接に関連していたことは認識している。しかし、同じ上里町が行っていた活動であるが、基本計画策定と学園誘致とは、その役割や必要性に違いがあると考えている。

○駅北まちづくりの今後について

問 駅北まちづくりについては、慎重に進めていかないとはいけなと言ってきた。多大なる測量費や駅前広場の計画や駅舎の関係などの委託費に税金をつぎ込むことによつて、後戻りできない状況にあるのではないか。
答 上里町が人口減少社会で将来に持続可能なコンパクトシティを実現する上で必要な事業と考えているが、財政状況あつての事業であ

り、慎重な判断が必要である。

2 施設のネーミングライツ
について

問 近年各自治体の施設を見ると、様々な企業名が入った施設を見ることができ、企業が、命名権料を自治体に支払う仕組みで、企業と自治体がウイン・ウインの関係になるのではないか。少しでも町の財源の確保により、施策の維持管理費などに活用できるとすれば、町でもトライをする必要があるのではないか。

答 ネーミングライツの導入には幾つかのメリットがある。まず、施設に関連する新たな収入源が得られ、自治体の財政負担を軽減し、施設の維持管理やサービス向上に充てる財源を確保することができる。また、企業との連携によつて地域が活性化することも期待される。一方で課題もあり、地域に深く根差した施設の場合、従来の名称が持つ愛着や文化的価値への影響も慎

重に検討する必要があるとともに、企業側のイメージや活動内容が問題となった場合、自治体の信頼性に影響を及ぼす可能性も否定できないが、ネーミングライツ導入には前向きに検討している段階である。

3 町の事業について

問 後援会のリーフレットに町の事業が始めていないのにも関わらず、実施されたかのようなことが掲載されている。私の今までの経験からは前例がなく見解を聞きたい。

答 町民の皆様は町政への関心を高めていただくことが討議資料の主な目的であるならば、むしろ前例にとらわれず効果的な配布時期を決めるほうが妥当と考えらる。



石井 慎也

問 高齢者見守りサービスへの補助を行っては

答 よりよい仕組みを検討していく

1 高齢者見守りサービスについて

問 高齢者見守りサービスの導入費や固定費の補助を行い、一人暮らしの高齢者が安心して生活できるようにしてはどうか。

答 通信機能がついた家電製品の導入時に初期費用や、利用料を補助する制度を設けている自治体もあるようなので、それらを参考に費用対効果を考慮して、町の実情に見合ったよりよい仕組みを検討していく。

問 町では緊急通報システムを導入しているが、持病を持っていない方は使えない。高齢者は年齢が上がっていくごとに予測していない事態が起こる可能性は上がっていく。早めに手を打つべきではないか。

答 各種事業を実施して、リスクの高い高齢者とともに、元気な高齢者を含めた見守りの仕組みを推進していきたい。

2 農業振興課にスマートデバイスを導入することについて

問 農業振興課にスマートデバイスを導入し、業務でLINE（ライン）が使えるようになれば、職員と農家間の連絡手段が増え、スムーズな対応ができるのではないか。

答 町として魅力のある取組であり、今後可能性があるものと考えているが、検討すべき事項が多いことから、現時点での導入は難しいと考えられる。

問 農業用水が断水している際は、役場に確認の電話が来て、職員が対応することもあると聞く。事前にこのような断水の情報をLINEで送っておくことで、職員の電話対応も減らせ、農家も助かるのではないか。

答 先進事例の調査を行い、農業者の皆様と町の双方にメリットのある、新たな情報提供の仕組みについて研究していく。

3 町の財政と政策について

問 経常収支比率（P5※1参照）が80%を超える場合には、財政の弾力性が失われつつあると言われているが、上里町は96・6%と非常に高い。経常収支比率を改善するために今後どのような事を行っていく予定なのか。

答 企業誘致や移住・定住への取組を推進している。また、町税等の徴収率の向上を図り、国・県支出金の活用や交付税算入率の高い地方債の選択を継続していく。使用料・手数料の見直しや未利用地の売却、民間活力の導入など、あらゆる角度から自主財源の確保に努めていく。

問 選ばれる町・住み続けたい町への政策として0・2歳児の保育料無償化があり、町へ移住のきっかけになったとあるが、小・中学生への支援をより進めたいかなければ町外に出て行ってしまうのではないか。

答 町内小・中学校の計画的な施設改修や環境整備、GIGA（ギガ）スクール構想の実現、中学校体育館へのエアコン設置など、教育環境の充実にも力を注いでいる。

問 計画的な施設改修は、公共施設維持保全計画の中で当たり前に行うものなので教育環境の充実とはいえない。子育て世代への支援をより行っている自治体は全国に多くあり、そちらに移ってしまうのではないか。

答 若い世代は経済面だけでなく、災害がなく、安心して暮らせる住みやすい町と捉えている方もいる。住み続けられるように色々な政策を打っていく。



第4回 議会報告会・意見交換会 みなさまからのご意見を 生かします

町長へ情報提供した内容は[こちら](#)



参加者と議員でテーブルを囲み意見交換しました

11月1日・8日、町内5カ所の地区公民館で開催した議会報告会・意見交換会には、34名の皆様にご参加いただきました。出されたご意見は、各議員の一般質問や、決算・予算審査等にも活用し、政策提言に生かせるよう努めてまいります。

ご意見の一部を紹介

- 賀美児童館と公民館の複合施設には、調理室をぜひ作ってほしい。
- ハザードマップを全世帯に配布しているが、個々での対応ではなく、防災訓練等を実施し防災への意識を高めるきっかけづくりをしてほしい。
- 県内の町村で、初めて0歳～2歳児の保育料を無償化したのは良かった。
- 高齢者に神保原駅南北自由通路の階段は、とても大変で苦勞する。

- 町の大きな事業や開発等の際は、計画・進捗状況等、町民への説明を徹底してほしい。
- ひとり暮らし高齢者見守り活動について、他市では色々な対策を取っているが、町でもより良い対策を考えてもらいたい。

12月10日・12日、議会全員協議会を開き、いただいたご意見を整理しました。また町政に関するご意見等は14名の議員全員で協議し、山下町長に情報提供することとしました。



副町長

町長

議長

副議長

12月17日、今後の町政運営の参考としてもらいたく、議会で取りまとめた意見交換会の結果を町長へ情報提供しました。

議会運営委員会

委員会
レポート

日付:11月5日(水)、6日(木)
**視察先:宮城県柴田郡柴田町、
震災遺構仙台市立荒浜小学校**

令和7年11月5日、宮城県柴田町議会において、議員資質向上、政策提言能力を身につける議会の取り組みについて、6日の荒浜小学校では、東日本大震災の被害実態について視察研修を行ってまいりました。

宮城県柴田町議会

柴田町では、予算・決算時に議員間討論を行う際にワールドカフェ方式を取り入れ、議案の論点整理に活用することで、以前より質疑が多く出なくてもさらに深まってきたと伺いました。また、議員間で出た意見は全て活かす考え方は重要と感じたので、上里町議会においてもこれらのことを取り入れていきたいと思いました。議会懇談会については、一般懇談会、団体懇談会、高校生との懇談会等、いろいろな分野で開催しており、町民の皆様との向き合い方は大変勉強になりました。上里町議会では、町民の皆様との意見交換会を4回開催してまいりました。これまでに皆様から頂いた意見は議会で議論を重ね、取りまとめて執行部に対し提言として2回提出しましたが、今後は視察研修で学んだことを生かし、さらに開かれた議会として皆様と共に町の課題解決に取り組んでまいりたいと決意するところです。



荒浜小学校

東日本大震災により校舎の3メートルの高さまで津波が押し寄せた跡がまざまざと残されていたのには驚きでありました。当時、校長先生であった方が語り部として説明してください、避難場所を校庭ではなく校舎の上の階にしたこと、毛布など温かくする物品を3階に保管していたこと等、平常時から計画を立てて準備をしておくこと、また、避難訓練を重ねてきたことの大切さを学んでいくことができました。災害についての認識を深めることができ、大変有意義な視察研修となりました。

飯塚 賢治



児玉郡町議会議員 後期研修会

日付:1月27日(火)
会場:美里町役場
**演題:「議会が行うべき政策議論・政策提案とは何か」
~データに基づく町の現状と課題について~**
**講師:(一社)地方公共団体政策支援機構
上席研究員 渡辺 太樹氏**

本研修では、客観的なデータに基づき、町の現状を把握することができました。様々なデータを分析することで、課題の深刻度や将来への影響を見極めることができると感じました。また当日は、実際のデータを踏まえて議員間討論を行い、課題認識の共有や政策の優先順位について活発な意見交換も行いました。エビデンスに基づく議論は、限

られた資源をどこに配分すべきか判断するうえで不可欠であり、住民への説明責任を果たす基盤になります。議会の役割として、町の持続可能性を確保するため、引き続きデータに基づく冷静な分析と活発な議員間討論を重ね、将来を見据えた戦略的かつ実効性のある政策提言が不可欠であると感じました。



議会日誌

12月

- 4日 定例会開会、町長の行政報告等、一般質問
- 5日 一般質問
- 8日 全員協議会
- 9日 議案審議（条例改正、補正予算等）
- 10日 全員協議会
- 12日 全員協議会、閉会
- 19日 本庄上里学校給食組合議会臨時会
- 24日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 26日 全員協議会、臨時会

1月

- 11日 上里町二十歳の集い
- 20日 議会広報広聴常任委員会
- 27日 児玉郡町議会議員後期研修会

2月

- 6日 全員協議会
- 10日 議会広報広聴常任委員会
- 16日 議会運営委員会、児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 20日 本庄上里学校給食組合議会



編集後記

令和4年5月から始まった上里町18期定例会も、3月議会を残すのみとなりました。コロナ禍の影響が色濃く残る中で、スタートでしたが、地域の行事や学校、福祉、産業など、少しずつ日常が戻っていく様子を議会として見守り、時に支える役割を担えたことは大きな喜びでした。町の課題は尽きません

が、対話を重ね、より良い上里町をつくるための議論を積み重ねてきた日々は、かけがえのない時間でした。18期として最後の号となりますが、これからも議会の姿を分かりやすく伝える紙面づくりが続いていくことを願っています。高橋 仁

議会広報広聴
常任委員会

- 委員長 高橋 仁
- 副委員長 植原 育雄
- 委員 石井 慎也、伊藤 覚、金子 義則、戸矢 隆光

- 委員 高橋 仁
- 委員 植原 育雄
- 委員 石井 慎也
- 委員 伊藤 覚
- 委員 金子 義則
- 委員 戸矢 隆光
- 委員 高橋 仁

第1回3月定例会の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 (開会) 一般質問	5 一般質問	6	7
8	9	10	11	12	13	14
	議案審議 (条例・補正等)	議案審議 (当初予算)				
15	16	17	18	19	20 春分の日	21
			議案審議 (当初予算)	常任委員会		
22	23 (閉会) 報告・採決	24	25	26	27	28
29	30	31				

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間に変更になることがあります。)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第1回3月定例会一般質問一覧

	氏名	質問事項
4日(水)	戸矢 隆光	① 上武連携構想について ② 減少する児童生徒の対策について ③ 各種事業について
	齊藤 崇	① DXについて ② 感染症について ③ 奨学資金貸付事業について ④ 令和8年度新規事業について ⑤ GIGAスクール構想について
	新井 實	① 学校での日本語指導が必要な子どもたちの「対応」と「課題」について ② 街路樹の維持・管理について ③ デジタル教科書、正式化について ④ 「防災庁」の設置について ⑤ 少子化対策について ⑥ 神保原駅北地域の再生と活性化について
5日(木)	石井 慎也	① 事業の進め方について ② 検討や調査研究中の件について
	沓澤 幸子	① 子育て支援について ② 住宅リフォーム助成制度について ③ 環境問題について ④ 水辺公園について
	猪岡 壽	① 埼玉県各市町村の財政力指数について ② 町の空き家対策について ③ 農業後継者のいない農地について
	伊藤 覚	① 県道勅使河原本庄線(旧中山道)の冠水について ② 上里町交通指導員について ③ 上里ゴルフ場のふるさと納税について ④ 上里町子育て世帯応援産産品について
	金子 義則	① 上里町の児童生徒に対する子育て支援について ② 上里町内の整備事業について